

2. 開発のねらい

■はじめに

トヨタ コロナ マークⅡは、昭和55年10月にフル モデル チェンジを実施して以来下記の変更を行ない、従来からの優れた伝統を継承しつつ時代への積極的な対応と新技術の採用により、燃料経済性、居住性および静粛性の向上を推進してまいりました。

昭和55年10月 フル モデル チェンジを実施

DOHC 18R—GEU, LASRE 1G—EU, マイクロ コンピュータ制御による5M—EU, Lエンジンを搭載

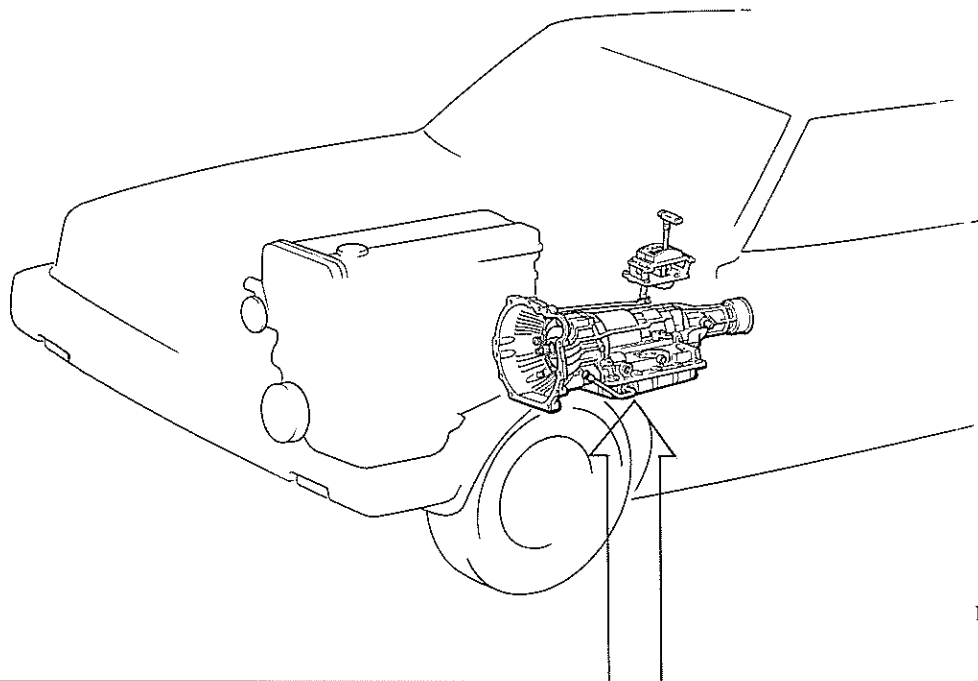
昭和56年10月 ターボ チャージヤ付きM—TEUエンジンを搭載

昭和57年8月 LASRE 1S—U, LASRE α 1G TWIN CAM24 1G—GEU エンジンおよびターボ デイゼル 2L—TEエンジンを搭載、外観意匠の変更

今回の型式追加にあたっては、従来からの優れた点にさらに磨きをかけたA42DE型電子制御式2ウエイO/D付き4速オートマチック トランスミッション搭載車を追加設定し、トヨタ コロナ マークⅡ シリーズの充実をはかるとともに、上級小型車として乗用車界のニュー リーダ カーを自負できるものと確信いたしております。

■開発のねらい ——高級車にふさわしい最高級A/T車の設定——

マイクロ コンピュータ制御により最適な変速制御やロック アップ作動等をするA42DE型電子制御式4速オートマチック トランスミッションとLASRE α 1G TWIN CAM24 1G—GEU エンジンを組み合わせる事により、動力性能、経済性と快適性を高いレベルで調和させたトヨタ コロナ マークⅡの最高級グレードの設定



B0214

電子制御式4速オートマチック トランスミッションA42DE (ロック アップ クラッチ付き) を搭載

A 42 D E
の 特 徴

1. NORMAL (ノーマル), POWER (パワー), ECONOMY (エコノミー) の3通りの走行パターンが選択可能。
2. マイクロ コンピュータによる最適な変速制御。
3. 故障箇所を知らせるダイアグノーシス機構。
4. 異常発生時に運転性を確保するフエイル セーフ機構。

<低 燃 費>

